



第153号 発行
第2施設大隊 OB会
印刷所
(有)旭川坂野

謹賀新年

第二施設大隊長

二等陸佐

佐藤 忠百

年頭の挨拶



新年、あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、一月にはトランプ米大統領就任、十月には初の女性首相となる高市内閣発足という政治的に大きな変化があり、文化的には、大阪・関西万博の開催、坂口志文氏のノーベル生理学・医学賞、北川進氏のノーベル化学賞受賞、大谷翔平選手の四度目となるMVP受賞等、国内外において様々な出来事がありました。

この間、大隊は、年度当初から、実爆、部隊装備火器射撃等を含む大隊統制訓練、演習場整備等を通じ、着実に練度を積み上げるとともに、九月、北大演において実施された大隊訓練検閲では、大隊の総力を結集して臨み、良好な評価をいただきました。

また、十月から十一月の間、大隊段列を含む各中隊等検閲を実施し、更なる技の錬磨に励んで参りました。あわせて、大隊持続走競技会等の競技会を実施し、中隊等の団結強化を図るとともに、拳法及び銃剣道の部内外大会においても選手が活躍しました。

本年におきましては、まず、一月に実施される師団冬季戦技競技会にBグループ(戦車連隊、後方支援連隊を含む。)として参加を予定しています。同競技会は、本年度二大主要事業の一つと位置付けており、大隊として「優勝」を目指しています。

また年度を通じ、上級部隊計画、中隊訓練検閲を含む大隊計画訓練等において、指揮幕僚活動、施設技術等の能力を向上させ、先進・北鎮・機動師団内の施設大隊としての実力を進化させるとともに、大隊一丸となって任務にまい進して参ります。引き続き、皆様のご理解、ご協力及びご支援を賜れますと幸いです。

最後になりますが、皆様のご健勝とご多幸を祈念して新年の挨拶とさせていただきます。



OB会長 長井 弘美
年頭の挨拶

新年明けましておめでとうございます。第二施設大隊の隊員諸官及び皆様はもとより、OB会員並びに御家族の皆様にかかれましては、心晴れやかな新年を迎えたこととお慶び申し上げます。さて、昨年は一昨年に起きた能登半島地震の復興を願いつつ、日本中が被害の復興に尽力しつつの一年であったように思います。

更に冬眠から目覚めた野生動物、北海道はヒグマ、全国的にはツキノワグマが市街地を徘徊するなど熊被害が発生しております。秋田では自衛隊が災害派遣に出動するなど異様な一年でありました。

OB会としては、昨年より小生が会長職を執らせていただきましたが、役員一同の会員の皆様に満足していただけるように精進してまいりましたが不慣れなため、不行き届きの点があるうかと思っておりますが皆様の協力を得て、総会、パークゴルフ、ビールパーティー、ボウリング後の忘年会等に名誉会長以下多数の現役隊員の参加を頂き盛会に執り行うことができました。

部隊にとっては、本年度も残すところ数ヶ月となりますが冬季戦技競技会にBGP優勝を目指し練成訓練を励んでください。OB会員も応援にいきます。

OB会も今年度の総会等に向けて誠意精進してまいりますので今後ともよろしくお願ひ申し上げます、新年のご挨拶といたします。



最先任上級曹長 准陸尉 中本 亮司
年頭の挨拶

第二施設大隊の隊員、ご家族の皆様、そして平素より御支援御協力をいただいておりますOB会並びに大隊協力団体の皆様、新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、新春を晴々しく健やかに迎えられることとお慶び申し上げます。

私は昨年三月十七日付で第六代最先任上級曹長を拝命した中本准尉です。身に余る光栄とともに、重圧を感じながらも各中隊先任上級曹長をはじめ、先輩隊員に支えられながらも各中隊先任上級曹長を拝命し、この間、感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、大隊は、大隊検閲受閲と師団冬季戦技競技会優勝という二大目標を掲げ、各中隊等は年度当初から検閲に向けた練成訓練、検証訓練を重ねて行き、八月に新たな指揮官を迎えました。着任後、検閲受閲まで約一か月という短い期間ではありましたが、ご指導をいただき、「技の発揮」、「克己」、「管理」を検閲の要事項に掲げ、大隊検閲に臨み

ました。北海道大演習場での八夜九日という状況のもと、時に激しい雨に打たれたながらも、各中隊は与えられた任務に対し、これまで錬磨してきた技を遺憾なく発揮し任務完遂のため隊員それぞれが高い意識をもって行動した結果、良い評価を得ることができたと感じております。また、大隊検閲を終え間もなく、次の目標である師団冬季戦技競技会優勝に向けた練成訓練を開始しました。各中隊の基幹要員達は、約十年ぶりの優勝を目指し、厳しい寒さの中、日々訓練に励んでいます。さらに基幹要員以外の隊員についても各種支援、検査、特別勤務、整備等の業務を引き受け選手たちのサポートに回り、大隊一丸となつて、戦つていくところでありたいです。本年も第二施設大隊の最先任上級曹長としての責任の重さを忘れることなく、基本基礎の指導、徹底、諸先輩たちが築き上げた施設大隊の伝統の継承に努め、互いに切磋琢磨しあいがさらなる第二施設大隊の精進強化の為に日々精進する所存であります。皆様におかれましては、

第二施設大隊に対するこれまでと変わらぬご指導ご鞭撻をお願ひいたしますとともに、新しい年が皆様にとって幸多き年になりますよう祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

各中隊長 年頭の挨拶



新年、あけましておめでとうございます。皆さま健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年三月から中隊長に上番以降、「上下左右の相互支援」を要望事項として隊務に邁進する中、温かいご指導をありがとうございます。昨年は一大隊訓練検閲「一段列及び通信小隊訓練検閲」を受閲し、無事に任務完遂できたことは隊員のみならず、ご家族皆様の理解とご支援の賜物だと改めてこの場を借りてお礼申し上げます。新しい年が皆さまにとって平和で充実した更に良い年になることを祈念して新年の挨拶とさせていただきます。

本部隊中隊長

一等陸尉 安達 昌史



新年、あけましておめでとうございます。皆様お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は九月に二年に一度の大規模な演習である大隊訓練検閲に続き、十月に中隊訓練検閲、十一月に演習場整備など大小様々な訓練等の参加による怒涛の日々を無事に乗り越えられたことは隊員のみならず、ご家族皆様方のご理解とご支援の賜物だとこの場を借りて御礼申し上げます。

第一中隊長

一等陸尉 村上 貞治



謹んで新春の祝詞を申し上げます。皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、大隊訓練検閲をはじめとした多くの訓練・演習に参加し、中隊の能力を最大限発揮した飛躍の年であったと感じております。

第二中隊長

一等陸尉 太田 勇人



謹賀新年 皆様におかれましては健やかに過ごされたこととお慶び申し上げます。旧年中は格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、2026年の干支である「丙午(ひのえうま)」は強いエネルギーを持っており、本年は「挑戦」の年であると考えています。隊員の生存率向上のため、人間力のある健全な隊員を育成するため、引き続き万里一空の精神で邁進する所存です。変わらぬご指導ご鞭撻よろしくお願ひいたします。

第三中隊長

一等陸尉 初代 剛尚



新年、明けましておめでとうございます。旧年中は多くのご支援をいただき誠にありがとうございます。昨年は大隊検閲など厳しい訓練を実施し、部隊を大きく成長させることができました。これもOB会及び隊員ご家族のお支えがあったことであり心より感謝申し上げます。日本を取り巻く安全保障環境は一層厳しくなっておりますが国の安全を保つため本年も精進する所存であります。本年がみなさまにとって素晴らしい一年となりますようお祈り申し上げます。

第四中隊長

一等陸尉 鈴木 義大

募集情報おむ!

隊員自主募集(旧・縁故募集)情報を随時募集しております。皆様の身近で自衛隊に関心のある方(十八歳以上三十三歳未満)がいらっしゃいましたら、是非とも情報をお寄せ下さい。ご協力よろしくお願ひ致します。



訓練・行事の様子や隊員の活躍の写が見れます。ぜひご覧ください。



陸上自衛隊第2師団 第2施設大隊ホームページ

大隊持続走競技会

令和七年十月十六日(木)及び十七日(金)、大隊は、旭川駐屯地において、全員参加による中隊対抗大隊持続走競技会を実施し、団結の強化を図った。この間、3kmの個人走及び各中隊二個組による6kmの組走で競い合い、熱戦の末、第三中隊が「優勝」した。なおこの日の写真は第二師団の公式フェイスブックと公式Xにアップされているので是非確認されたい。



第一中隊検閲

令和七年十月二十六日(日)から三十一日(金)までの間、上富良野演習場において、第一中隊及び第二中隊が中隊検閲を受閲した。第二中隊は集結地を占領し、各種指揮所の掘開及び障害構成を実施するなど、任務を完遂した。第一中隊は敵の障害を破竹の勢いで撃破し、攻撃発揮に大きく寄与するなど、任務を完遂した。両中隊は、それぞれある訓練を実施することができた。



演習場秋季定期整備

令和七年十一月四日(火)から十四日(金)の間、大隊は上富良野演習場及び鬼志別演習場において、演習場秋季定期整備を実施した。各中隊は道路整備、展開地整備、浚渫などの作業を通じて技術を錬磨し、その成果を発揮し任務を完遂した。



第四中隊検閲

令和七年十一月二十五日(火)から二十八日(金)までの間、近文台演習場において第四中隊、段列及び通信小隊は検閲を受閲した。各部隊は与えられた任務を遂行しつつ、数々の状況付与を克服し、無事に任務を完遂した。また、他部隊から補助官が参加し、AARにおいては貴重な意見を受けるなど、更なる高みへと一歩踏み出した。



OB会忘年会

令和七年十一月二十九日(土)、OB会は高砂台ボウリングクラブにてボウリング大会と忘年会を開催し、楽しいひとときを過ごしたほか、豪華景品をかけたビッグ大会も開催され、大いに盛り上がった。今年も様々な行事を企画しているため、老若問わず参加者を募集している。



後定期昇任

- 准陸尉(一月一日付)
 - 第四中隊 陸曹長 中江 祐介
 - 本部管理中隊 二等陸曹 庄司 功太郎
 - 第三中隊 同 齋藤 隼人
 - 第四中隊 同 菊池 昌也
 - 本部管理中隊 三等陸曹 横山 亮太
 - 第二中隊 同 渡邊 希
 - 第四中隊 同 茂木 義也
 - 第三中隊 同 奥澤 宗隆
 - 第一中隊 同 橋本 久保
 - 同 同 梅原 悠真
 - 同 同 山城 佑斗
 - 陸士長(一月一日付)
 - 第四中隊 同 氷室 温音
 - 陸士長(一月一日付)
 - 第二中隊 同 岩田 沙羅
 - 本部管理中隊 二等陸士 田村 温

十月〜十二月表彰

- 第三級賞詞(師団長 業務改善)
 - 第三級賞詞(師団長 車西) 大山 優樹
 - 本部管理中隊 二等陸曹 内山 貢伺
- 第四級賞詞(大隊長 車西)
 - 本部管理中隊 三等陸曹 西島 光
 - 第一中隊 同 船木 尚宏
 - 同 同 船木 尚宏
 - 第三中隊 同 石川 押忍
- 第五級賞詞(中隊長 車西)
 - 本部管理中隊 三等陸曹 金谷 良太
 - 第一中隊 同 工藤 夏生
 - 第四中隊 同 金藤 夏生

十二月異動

- 転出者
 - 第一陸尉 大道 優樹
 - 訓練評価支援隊(北千歳)

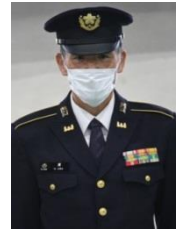
【定年退官】



本部管理中隊 1等陸曹 稲毛 誠 【退職日】



大隊本部 2等陸佐 伊藤 光年 【退職日】

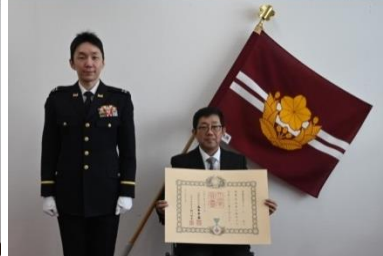


本部管理中隊 准陸尉 浦 啓之 【退職日】

【叙位・叙勲】



瑞宝双光章(勲記及び勲章) 海老名 俊典氏



瑞宝单光章(勲記及び勲章) 山口 浩氏



瑞宝单光章(勲記及び勲章) 山川 茂氏

伝達日令和7年12月11日 伝達日令和7年12月12日 伝達日令和7年12月11日 令和7年11月26日付 令和7年11月19日付 令和7年10月17日付

2 施大
OB会
OB各位の
ご発展を祈る
会長
長 井 弘 美

2 施大
修親会
いつも皆様のおそばに
シブラルタ生命
第2施設大隊OB
渋谷 里絵
TEL 090-8706-7351

団結を誇る
2 施大
曹友槐会
会長 幅 口 将
陸曹長

フコク生命
旭川支社 旭川第二営業所
間 藤 裕 子
〒070-0034
旭川市4条通12丁目左10号
TEL:0166-23-8427
FAX:0166-22-1356

日本生命保険相互会社
旭川支社 旭川大町営業部
中川 佳代子
携帯070-7787-5578
〒070-0841
旭川市大町一条3-14
日本生命大町ビル2F
TEL:0166-51-5461
FAX:0166-53-7292
002-24-259

石油ストーブの分解清掃・OH
長井住設
ながい ひろみ
長井 弘美
〒071-8123
旭川市末広東3条3丁目1番24号
TEL&FAX:0166-54-2199
携帯:090-8907-4650
mail:hiromi0922@docomo.ne.jp

シブラルタ生命
第2施設大隊OB
渋谷 里絵
TEL 090-8706-7351

旭川駐屯地南厚生センター内
カットハウス錦
TEL 51-6111(内線)3352
代表取締役 金見 輝巳

BELLCLASSIC Asahikawa
ベルクラシック旭川
〒070-0810 旭川市本町2丁目
TEL (0166) 51-1111
FAX (0166) 51-8786
http://www.bellclassic.co.jp
E-MAIL:asahikawa@bellclassic.co.jp

北海道銀行
旭川支店
第2施設大隊OB
伊藤 正昭
TEL 090-8707-5859

日頃からのご協力
ありがとうございます。
旭川駐屯地南厚生センター内
カットハウス錦